

定例記者会見資料



○日 時	平成24年2月8日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民研究員と大学院生の共同研究成果報告会のご案内……………【資料1】・第9回 地域振興に関する提言を含む 優秀卒業研究・論文の発表会について……………【資料2】・海外企業研修(Global business study tour)の実施について……………【資料3】 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・特許の取得について……………【資料4】 <p>【全キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年度島根県立大学一般選抜の志願者状況について……………【資料5】
○資料提供 項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光講演会及び観光素材探索ワークショップの成果発表について……………【資料6】・いのちを守る防災と災害ボランティアフォーラムについて……………【資料7】 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年度前期科目等履修生・聴講生の募集について……………【資料8】 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成23年度島根県がん相談員等 地区研修会(西部研修会)の開催について……………【資料9】
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200



マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成24年2月8日
島根県立大学浜田キャンパス
事務局交流研究課 佐草利博
TEL (0855) 24-2201

「平成23年度北東アジア地域研究センター市民研究者と大学院生の
共同研究成果報告会」の開催について

北東アジア地域研究センターでは、北東アジア地域研究センター市民研究者（＊）と本学大学院生が共通の関心分野について共同で取り組んだ研究成果の報告会を下記のとおり開催します。

これまで定例研究会として関係者のみで開催しておりましたが、昨年からは広く一般の方にも公開することといたしましたので、興味のある方にご来場いただき、本学北東アジア地域研究センター市民研究者の活動の一端に触れていただきたいと思います。

記

1. 日時 平成24年3月3日（土） 14：00～17：00
（当日は寒くなることが予想されます。暖かい格好でお越しください。）
2. 場所 島根県立大学交流センター 2F コンベンションホール
3. 内容（予定）
 - （1）新疆ウイグル自治区におけるウイグル民族による宿泊体験型農村観光に関する研究—トルファンとウルムチにおける農家樂を中心として—
リシャラティ アビリム 北東アジア開発研究科 博士前期課程 2年
加藤 公夫・岡崎 秀紀 市民研究者
 - （2）朝鮮民主主義人民共和国から見た中朝関係—冷戦終結から”苦難の行軍”時期までを中心に
サイ エイレイ 崔 穎麗 北東アジア開発研究科 博士前期課程 2年
湯屋口 初實・大場 利信・滑 純雄 市民研究者
4. その他 事前申込不要 入場無料

本内容については本学ホームページにも掲載しています。

＊北東アジア地域研究センター市民研究者とは？

本学の北東アジア地域研究センター（NEARセンター）の研究活動に広く一般市民の参加を求め、地域の研究者や有識者との連携を強化することにより、NEARセンターの研究活動の活性化並びに大学院教育の充実を図ることを目的として、平成18年度から、創設したもので、全国的にも例のないユニークな制度です。

【資料2】

平成24年2月8日(水)
島根県立大学 浜田キャンパス
担当 地域連携推進センター 竹根
電話 0855-24-2396

第9回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会の開催について

1. 目的

今春島根県立大学学部卒業生、大学院修了生が、地元の皆様のご支援により4年間（あるいは2年間）の学生生活を終え、卒業することになりました。この間に多くの学生が、地域において勉強し、住民の皆様にご指導いただきました。

卒業する学生が作成した卒業研究論文には、地域振興や地域活性化に関するテーマが多く取り上げられています。研究論文の作成にあたり、これまでご支援・ご指導いただいた地域の皆様へ感謝の気持ちを込めて発表会を開催いたします。

2. 日時

2月17日（金） 13:30～16:00

※13時30分より30分程度表彰式を行います

3. 場所・会場

島根県立大学 交流センター コンベンションホール

4. 主催

島根県立大学

5. 後援

浜田市

6. 発表内容 4本予定

- ・医療通訳普及が実現する医療の国際化—日本における医療通訳普及に期待される有効性と方向性の検証—
- ・日本の農業に関する一考察—農業による地域の活性化—
- ・グリーン・ツーリズム実践地における地域住民の意識に関する研究—島根県邑智郡邑南町市木地区を事例に—
- ・島根県邑智郡邑南町における雇用の観点から見た地域振興

7. 参加申込等

どなたでも参加いただけます。事前申し込み不要、参加無料です。

8. これまでの経緯や特徴など

本学は平成12年に開学いたしましたが、その第一期生を送り出した平成16年からこの発表会を開催し、今年で9回目を迎えます。

平成19年度からは、浜田市のご後援をいただき、優秀な卒業論文に対しては、浜田市長賞が授与されています。

記者発表資料：平成 24 年 2 月 8 日
 島根県立大学 浜田キャンパス
 キャリア支援室 雪吹
 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
 TEL: 0855-24-2202 FAX: 0855-24-2387

海外企業研修 (Global business study tour) の実施

本学の 1～3 年を対象に、文部科学省の就業力育成支援事業を活用し「海外企業研修 (Global business study tour)」を実施する。インド共和国コースと大韓民国コースの 2 コースを用意し、グローバルに展開する企業への訪問、現地大学生との交流をおこなう。

島根県立大学として当企画は初の試みであり、躍動するアジアの成長を肌で体感し、自己を取り巻く環境等を見据えた上で主体的に進路を選択できる能力を育成することを狙いとしている。ひいては、国際化の進む社会の様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。

当事業には、日本学生支援機構から Short stay, Short visit 奨学金と、大学独自の奨学金制度を設け (インドコースのみ)、参加学生を支援している。

昨年 12 月に募集を開始したところ、定員を大幅に超える学生の申込みがあり、選抜試験を通過した 25 名 (インド 15 名・韓国 10 名) が参加する。

応募者	38 名	内訳)	1 年生 : 8 名	2 年生 : 23 名	3 年生 : 7 名
合格者	インドコース : 15 名		1 年生 : 3 名	2 年生 : 7 名	3 年生 : 5 名
	韓国コース : 10 名		1 年生 : 2 名	2 年生 : 7 名	3 年生 : 1 名

記

インド共和国コース

- 参加人数 : 15 名
- 研修期間 : 平成 24 年 3 月 4 日～平成 24 年 3 月 10 日 (7 日間)
- 研修地 : バンガロール
- 主な訪問先 :
 WIPRO (インド最大級 IT 企業)・Infosys (インド最大級 IT 企業)・TOYOTA KIRLOSKAR MOTORS (TOYOTA 現地法人)・IIT (インド経営大学院)・New Horizon college Leadership Institute

大韓民国コース

- 参加人数 : 10 名
- 研修期間 : 平成 24 年 3 月 10 日～平成 24 年 3 月 16 日 (7 日間)
- 研修地 : ソウル特別市・大田広域市・蔚山広域市
- 主な訪問先 : SK TELECOM (情報通信)・サムスン (電機メーカー)・現代自動車・現代中工業 (造船業)・蔚山大学校

【所要経費概要】

●インドコース	学生 1 人あたり所要額	約 15 万円
	日本学生支援機構補助金	8 万円
	<u>本学奨学金</u>	<u>3 万円</u>
	自己負担額	約 4 万円

※福岡空港までの旅費、現地食費は除く

●韓国コース	学生 1 人あたり所要額	約 8 万円
	<u>日本学生支援機構補助金</u>	<u>8 万円</u>
	自己負担額	なし

※現地での交通費、食費は除く



A. インドコース

1 訪問先紹介

1.1 日印ソフトウェア

株式会社エヌ・ディ・アール（大阪）とのジョイントベンチャー。職員は約 70 名でそのうち 25 名が研修を兼ねて日本で働いている。現地で日本人も働いている。日本企業向けのオフショア開発を行うソフトウェア開発会社である。ちなみにインターンシップ等もウェルカムとのこと。

会社内には日本語を流暢に話すインド人も多く在籍しており、日本企業顧客に対し言語によるコミュニケーションの壁をなくし、さらに日本人、日系企業文化を理解することによって、ソフト開発の品質向上、納期の確保等、日系企業に対して顧客満足を与えている。

1.2 TOYOTA KIRLOSKAR MOTORS

トヨタ自動車の現地法人。職員は現地人約 5,000 名。広大な土地にトヨタ村がある。インドは自動車産業の生産基地かつ巨大消費市場として多くの自動車メーカーが工場進出している。なかでも南インドに拠点を有するトヨタ自動車はインド独自市場向けの新車エティオスを 2011 年開発、生産開始。工場内は完全に日本式のジャストインタイム、カイゼン活動を実施し高品質を確保しており、インド人工員を養成する教育訓練センターも同工場内で運営し優秀な人材を輩出している。

1.3 TOYOTA KIRLOSKAR AUTO PARTS

車両を生産するトヨタ自動車の本体工場がバンガロールに進出したことにより、多くのトヨタ系列の工場、会社がトヨタ村に集積している。本工場は基幹部品であるトランスミッション等の部品を本体車両工場に供給する。また、トランスミッション自体も多くの部品で構成され、地元のインド企業からの部品調達を行うほか、トヨタ生産方式の指導をインドの部品製造メーカーに対して行い総合品質管理を徹底している。

1.4 WIPRO

バンガロールに本社を置く IT サービス企業で、インドの IT 業界で最大の規模を持つ。創業は 1945 年と、インドの IT 業界大手の中で最も古い。創業当初はピーナッツオイルなどの食料品や医薬品の製造を行っていた。IT 業界に参入したのは 1980 年代以降。日本市場への参入に関しては、2008 年に株式会社 CTC（伊藤忠テクノサイエンス）との間で包括提携を交わしている。日本の本社は横浜、コールセンターは沖縄にある。拠点の敷地内はキャンパスといわれ広大な土地の中にビルが点在し、ショッピングセンターやテニスコートなどの従業員施設も完備し、インド人にとって入社したい憧れの企業である。世界的にも展開し中国にも拠点を設けている。



1.5 Infosys Limited

バンガロールに本社機能を置く世界有数の IT コンサルティング・ビジネスコンサルティング・テクノロジー・エンジニアリング・アウトソーシング・ソフトウェア開発企業。

1.6 New Horizon college (Leadership Institute)

マネージメントを学ぶ学部。学生数約 5000 人。併設校として、New Horizon college of engineering (IT 専門) がある。

今回のプログラムでは、キャリア開発に関する体験授業と学生とのディスカッションを予定している。また日印の学生同士で昼食 (@学食) をとったり、交流会を計画している。就職率は驚異の 100%。バンガロールは気候が温暖であり、研究、勉学には理想的な場所であるため、このような大学、教育施設が多くあり、多くの優秀な人材を輩出している。

1.7 IIT (インド経営大学院)

インドにおける経営学などの学問を教育する最高峰レベルの大学。インドの国立の高等教育機関のひとつであり、アフマダーバード、バンガロール、インドール、コルカタ、コーリッコドゥ、ラクナウの 6 箇所に設立されている。多彩な専攻を有する、MBA に相当する 2 年間の経営学修士課程、定時制の経営学修士課程、および経営学短期研修課程が開設されている。6 つの分校はそれぞれ独立の組織と看做されるが、すべてインド中央政府に所属し運営されている。全インドから優秀な学生が集まっている。インドの受験競争は世界一過酷である。インドでは貧困から抜け出すには教育しかないとのことで、親も子供の教育には非常に熱心であり食費を削っても教育費は削らないと言われている。したがって、合格はしたものの教科書を買う余裕のない学生もいると言われているが、卒業後はトップ企業や政府への就職が約束されている。



1.8その他

以下のホームページより情報はチェックをしておいてください。研修先企業・大学のホームページをご覧ください。また、研修国のガイドブック（地球の歩き方など）を読んでおくこともたいへん参考になります。

TOYOTA KIRLOSKAR AUTO PARTS

<http://www.tkap.com/>

TOYOTA KIRLOSKAR MOTORS

<http://www.toyotabharat.com/>

日印ソフトウェア

<http://www.nichi.com/jp/>

WIPRO

<http://www.wipro.com/Pages/Index.aspx>

Infosys

<http://www.infosys.com/>

Acharya institute of management & science

<http://acharyaims.ac.in/>

NEW HORIZON COLLEGE (New Horizon Leadership Institute)

<http://www.nhliedu.com/>

IIM (インド経営大学院)

<http://www.iimb.ernet.in/>



2 研修地（インド共和国バンガロール）の紹介

「インドのシリコンバレー」と言われ、2004年のインド国内ソフトウェア輸出の35%を占めるに至り、大小あわせて2,000社ものIT企業が軒を連ねています。ソフトウェア大国インドの象徴たる都市です。バンガロールの気候は、高原にあるためインドの他都市と比較すると穏やかで涼しく、「インドのガーデン・シティ（庭園都市）」と呼ばれ、他地方の人々から見て大きな魅力になっています。1947年にインドが独立したあと、バンガロールは国営の重工業、航空産業、宇宙産業、防衛産業の工場群が置かれました。さらに、インド経済自由化後のバンガロールにおけるハイテク産業の確立と成功は、インドの情報通信産業（IT産業）を成長させる原動力になりました。高い教育水準を誇る大学群と研究所群の所在地として知られ、国内第2位の識字率を誇ります。デリーに次いで在留邦人が多い為、2008年1月に出張駐在官事務所が開設されました。



GLOBAL BUSINESS STUDY TOUR (INDIA COURSE)

DATE			項目	訪問先	内容
移動日	2012/3/4(日)	終日	移動日	HOTEL (Maple Suites)	福岡空港現地集合(14:00)→【CX6701】福岡空港発(16:20)→香港着(19:15)→【CX6710】香港発(22:40)→インド共和国バンガロール着(02:00) →チャーターバスにてホテル着
1日目	2012/3/5(月)	午前	大学訪問①	Acharya Institute of Management&science	09:00 宿泊施設出発 10:00-10:30 Introduction 10:30-11:30 インド人学生によるプレゼンテーション(大学紹介、インドの状況等) 11:30-11:45 ブレイク 11:45-12:45 日本人学生によるプレゼンテーション(日本の紹介、大学紹介等) 12:45-13:15 質疑応答、インタラクティブセッション 13:15-14:00 昼食(学内)インド人学生との交流 14:00- 日印ソフトへ向かう
		午後	企業訪問①	Nichi-In Software Solutions	企業見学・スタッフからの会社紹介・意見交換
		夜	ミーティング	HOTEL (Maple Suites)	振り返り
2日目	2012/3/6(火)	午前	大学訪問②	New Horizon College	学校見学・授業体験・意見交換 ※内容の詳細は現在調整中
		午後	大学訪問③	IIM (Indian Institute of Management Bangalore)	学校見学・授業体験・意見交換 ※内容の詳細は現在調整中
		夜	大学交流会	New Horizon College	日印両学生で食事会 ※日本の文化紹介としてパフォーマンスが出来たらいいが、現在調整中
3日目	2012/3/7(水)	午前	企業訪問②	TOYOTA KIRLOSKAR MOTORS	企業(工場)見学・スタッフからの会社紹介・意見交換
		午後	企業訪問③	TOYOTA KIRLOSKAR AUTO PARTS	企業(工場)見学・スタッフからの会社紹介・意見交換
		夜	ミーティング	HOTEL (Maple Suites)	振り返り
4日目	2012/3/8(木)	午前	ワークショップ	Acharya Institute of Management&science	Global Business Simulation Game ※5チーム(3人1組)に分かれて4-5時間のセッション
		午後	現地文化体験ほか	Bangalore	市内観光
5日目	2012/3/9(金)	午前	企業訪問④	WIPRO	企業見学・スタッフからの会社紹介・意見交換
		午後	企業訪問⑤	Infosys Limited	企業見学・スタッフからの会社紹介・意見交換
移動日	2012/3/10(土)	終日	移動日	--	【CX6701】インド共和国バンガロール発03:00→香港着(11:00)→【CX510】香港発(15:15)→福岡空港着(20:55)→現地解散※浜田に帰れる交通機関は無いので各自宿を調達すること



B. 韓国コース

1. スケジュール概要（変更の可能性あり）

日程	午前	午後	夜
1日目 3/10 (土)	【01】 ・訪韓 浜田→bus→広島→(飛行機)→仁川 (9:40 → 11:20)	【02】 ・オリエンテーション (60分) ・講義「韓国塾」(90分)	・Meeting ・ハイソウル YH 泊
2日目 3/11 (日)	【03】 ・講義「日・韓・世界」(90分) ・意見交換会 with 光雲大学生	【04】 ・ソウル市内視察 with 光雲大学生 (歴史博物館、国立故宮博物館...)	・Meeting ・ハイソウル YH 泊
3日目 3/12 (月)	【05】 ・企業訪問 (SKの T-um 見学)	【06】 ・企業訪問 (サムスン スオン工場)	・Meeting ・ハイソウル YH 泊
4日目 3/13 (火)	【07】 ・蔚山 (ウルサン) へ KTX で移動	【08】 ・企業訪問 (現代自動車) ・企業訪問 (現代中工業)	・Meeting ・蔚山大学 GH 泊
5日目 3/14 (水)	【09】 ・蔚山大学授業見学	【10】 ・意見交換会 with 蔚山大学生	・懇親会 with 蔚山大学生 ・蔚山大学 GH 泊
6日目 3/15 (木)	【11】 ・大田 (テジョン) へ KTX で移動	【12】 ・企業訪問 (調整中 A) ・ソウルへ KTX で移動	・Meeting ・IYC YH 泊
7日目 3/16 (金)	【13】 ・企業訪問 (調整中 B) ・成果発表会 (with 光雲大学生)	【14】 ・帰国 仁川→(飛行機)→広島→bus→浜田 (18:40 → 20:00)	

※検討・調整中の企業・学校・公共施設は、Kaist、韓国中小企業振興院、韓国情報通信部、Edu キャプセル (ベンチャー:アプリ製作)、gmerce (ベンチャー:電子貿易) などです。



2. 韓国高速鉄道 (KTX)、訪問先 URL など



- ・ t-um (SK の施設) ==> <http://tum.sktelecom.com/>
- ・ サムスン ==> <http://www.samsung.com/sec/>
- ・ 現代自動車 ==> <http://pr.hyundai.com/>
- ・ 現代中工業 ==> <http://www.hhi.co.kr/>

- ・ 光雲大学 ==> <http://www.kw.ac.kr/>
- ・ ウルサン大学 ==> <http://www.ulsan.ac.kr/main/>

- ・ ソウル歴史博物館 ==> http://www.museum.seoul.kr/kor_new/index.jsp
- ・ 国立故宮博物館 ==> <http://www.gogung.go.kr/index.jsp>

- ・ ハイソウル YH ==> <http://www.hiseoulyh.com/>
- ・ Intl Youth Center YH ==> <http://www.iyc.or.kr/main.jsp>

平成24年2月8日
 島根県立大学松江キャンパス
 健康栄養学科
 担当：籠橋 有紀子
 電話：0852-26-5525（代表）

島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)の教員の特許の取得について

この度、公立大学法人島根県立大学が、下記のとおり2件の発明に対する特許を取得いたしました。
 なお、特許取得は、公立大学法人島根県立大学および松江キャンパスの前身である島根女子短期大学開学以来、初めてとなります。

今回の2件の特許取得に関しては、いずれも、籠橋有紀子准教授が本学へ赴任して以来、継続して携わってきた1型糖尿病の基礎研究成果をベースとしています。

糖尿病は、発病までのメカニズムの違いで大きく1型糖尿病と2型糖尿病に分けられます。生活習慣病と呼ばれる2型と違い、1型は、遺伝的になりやすい人に対して、化学物質等を含む何らかの環境要因がきっかけとなって発病に至る、非肥満型で若年での発症を特徴とする糖尿病です。一度発病すると、一生インスリンを外来投与し続けなければならない難病であるため、予防に対する潜在的な要望は高く、世界中で様々な研究が進められています。

I 特許第4893907号

1. 発明の名称 1型糖尿病用献立判定装置および1型糖尿病用献立判定プログラム
2. 特許権者 公立大学法人島根県立大学
3. 発明者 かがはし ゆきこ なおら ひろゆき なわた
籠橋 有紀子、直良 博之、名和田 きよ子
4. 出願番号 特願2005-068271
5. 出願日 平成17年 3月11日
6. 登録日 平成24年 1月 6日
7. 特許内容 本特許は、1型糖尿病の予防および治療のために、1型糖尿病の患者および家族が家庭でも簡単にパソコンを使って献立作成ができるツールとして考え出したものです。遺伝的に1型糖尿病になりやすい子をもつ家庭内における、家族全員の嗜好を考慮した献立であって、1型糖尿病の発病率を低下させるためのまたは病態の進行を遅くするための献立を提供するものです。この発明は、籠橋准教授の基礎研究により、ライフステージを通じてその時期に合った栄養摂取を行うことが1型糖尿病の予防につながり、また、1型糖尿病の発病後にあつては、その病態に応じて栄養摂取を行うことで進行を遅らせることができるのではないかとする基礎研究の成果を得たことに端を発しています。籠橋准教授は、その成果を生かし、胎児期、新生児期、乳児期などのライフステージの各時期に家庭で献立作成できるような献立判定装置およびプログラムを作成したいと考え、献立判定装置および献立判定プログラムの構成・統括を行いました。プログラム構成の詳細については直良准教授からの助言を、また、プログラム運用の面からは名和田教授の助言をふまえ、発明に至りました。

II 特許第4893914号

1. 発明の名称 経管栄養組成物
2. 特許権者 公立大学法人島根県立大学
3. 発明者 かがはし ゆきこ
籠橋 有紀子
4. 出願番号 特願2005-302661
5. 出願日 平成17年10月18日
6. 登録日 平成24年 1月 6日
7. 特許内容 本特許は、糖尿病の予防および治療のために効果的な栄養素を加えた経管栄養組成物に対する特許です。経管栄養とは、経口摂取が不可能あるいは不十分な患者に対し、体外から消化管内に通したチューブを用いて流動食を投与することです。経管栄養組成物とは、こうした胃瘻による栄養投入や経鼻チューブによる栄養投入の際に用いる組成物のことです。籠橋准教授は、ライフステージを通じてその時期や病態に合った栄養摂取を行うことが1型糖尿病の発病予防につながり、また、1型糖尿病の発病後にあつては、その病態に応じて栄養摂取を行うことで進行を遅らせることができるのではないかとする基礎研究の結果をもとに、1型糖尿病の発病率ないし発病可能性を低減させ、また、1型糖尿病の発病時期を遅らせることができる経管栄養組成物を発明しました。

特許の概要および活用について

平成 24 年 2 月 7 日

島根県立大学短期大学部松江キャンパス
籠橋 有紀子

1. 糖尿病とは

私たちの身体を構成する細胞は、血液中のブドウ糖を活動のエネルギー源としている。そして、細胞がエネルギーを必要とするときはいつでもブドウ糖を細胞内に取り込めるように調節に関わっているのが、膵臓のランゲルハンス島β細胞から分泌されるインスリンである。インスリンが欠乏すると、細胞が餓死する一方で血液中のブドウ糖濃度が急激に上昇し（高血糖）、腎臓でろ過しきれないまま尿中にブドウ糖が出てくる症状すなわち「糖尿病」と呼ぶ状態を示す（図1）。高血糖の状態が続くと、失明や腎不全をはじめ多くの合併症を引き起こし、著しく生活の質（QOL）を脅かす深刻な病態となる。

2. 1型糖尿病とは

1型糖尿病は患者のほとんどが乳幼児期から10代に発病する若年性の糖尿病であり、糖尿病になりやすい遺伝子を持つ人に、何らかの環境因子（栄養素等の化学物質、ウイルスなど）が作用することにより発病する疾患である。インスリンを製造する膵臓のβ細胞が自分自身の免疫細胞によって破壊されてしまうことから自己免疫疾患の一つに分類され、インスリンの欠乏により、発病後は一生涯毎日インスリン投与を行わないと死亡する重篤な病状を示す。

生活習慣病とよばれる2型糖尿病とは異なり、1型糖尿病においては予防や発病後の病態の進行についての本人のコントロールが極めて難しく、完治は困難であり寿命も短い。近年では、1型糖尿病家系から2型糖尿病、2型糖尿病家系から1型糖尿病の子孫が生まれることも多く、遺伝的関連性が示唆されていることから、双方の糖尿病患者とその家族全体からの予防および治療に対する潜在的要望は高い。

3. 必須脂肪酸について

脂質（脂肪）のほとんどは、構造上「脂肪酸」という成分がベースになっている。脂肪酸のうち、体内では作れないために食事から摂取しなければならないものを必須脂肪酸とよび、食肉や農作物等に多く含まれるリノール酸、アラキドン酸などのn-6系必須脂肪酸と、魚介類に多く含まれるドコサヘキサエン酸(DHA)、エイコサペンタエン酸(EPA)、α-リノレン酸などのn-3系必須脂肪酸に分類される。DHAが脳機能の発達や改善に関わる、および、近年では、n-3系必須脂肪酸の摂取が生活習慣病（肥満、高血圧、骨粗しょう症等）の発病後の改善に効果があることが報告されている。

4. 研究内容について

1型糖尿病の発病率は国家間で異なり、発病率が高い欧米（10万人中15-20人）は、発病率が低

い日本(10万人中1-2人)の約15倍の発病率を示す。人種による遺伝的な相違点もさることながら、食事から摂取する必須脂肪酸比率(n-6/n-3)についても、欧米食(n-6/n-3=15)は伝統的日本食(魚を中心とした食事:n-6/n-3=3-4)の約5倍と高く、著しく異なっている。また、免疫細胞が自分自身を標的とするリウマチなどの自己免疫疾患の悪化に、食事の中の必須脂肪酸比率の中でリノール酸の過剰摂取が関与すると報告されている。以上を考慮して、1型糖尿病の発病率と食事の中のn-6/n-3の因果関係に着目して研究を行った。

1型糖尿病予防および治療について、ヒト1型糖尿病モデル動物であるNon-obese diabetic (NOD) マウスを中心とした基礎研究が行われており、世界中で数々の糖尿病用治療薬の開発に寄与している。このNODマウスを用いて研究を継続し、本案件の発明に至った。

通常の実験動物用飼料に対してn-3系必須脂肪酸を強化し含有率を高くするによりn-6/n-3を低く設定した飼料「Low」とn-3系必須脂肪酸の含有率を低くすることによりn-6/n-3を高く設定した飼料「High」を実験に用いた(表1)。離乳期を境に与える飼料を変えて、離乳前と離乳後に摂取する必須脂肪酸比率と、糖尿病発病率および発病時期の関係を検討した(表2)。

その結果、離乳前に摂取する必須脂肪酸比率を低く設定した場合(n-6/n-3=3)は、1型糖尿病の発病率の低減に(図2:L-H)、離乳後は発病時期の遅延につながる事が確認された(図2:H-L)。

また、食事から摂取する必須脂肪酸比率が1型糖尿病発症後の病態にどう影響するかを、糖尿病発症後のNODマウスを用いて検討した(表3)。

その結果、発病後早期に摂取する必須脂肪酸比率を低く設定した場合(n-6/n-3=3)は、糖尿病の病態が軽減され(図3:H-H-L)、生存日数も著しく増加した(図4:H-H-L)。したがって、糖尿病発病後も早期に食事の中の必須脂肪酸を調節することにより、病状の進行を遅らせることが可能であることが示唆された。

5. 特許 I および特許 II の活用について

I 特許第4893907号

1. 発明の名称 1型糖尿病用献立判定装置および1型糖尿病用献立判定プログラム
2. 特許権者 公立大学法人島根県立大学
3. 発明者 籠橋 有紀子
直良 博之
名和田 きよ子
4. 出願番号 特願2005-068271
5. 出願日 平成17年 3月11日
6. 登録日 平成24年 1月 6日

II 特許第4893914号

1. 発明の名称 経管栄養組成物
2. 特許権者 公立大学法人島根県立大学
3. 発明者 籠橋 有紀子
4. 出願番号 特願2005-302661

5. 出願日 平成17年10月18日
6. 登録日 平成24年 1月 6日

①栄養価計算ソフト

特許Ⅰは、上記の研究結果を利用し、1型糖尿病の発病者および発病が懸念される人が摂取する食事中の必須脂肪酸比率を望ましい状態にコントロールすることにより、発病の抑制および病態の進行の遅延を目的とするものである。

1型糖尿病の患者および家族が家庭でも簡単にパソコンを使って献立作成ができるツールとして考え出したものである。遺伝的に1型糖尿病になりやすい子をもつ家庭内における、家族全員の嗜好を考慮した献立であって、1型糖尿病の発病率を低下させるためのまたは病態の進行を遅くするための献立の提供をするものである。

栄養価計算ソフトをパソコン上で立ち上げ（図5）、使用者が摂取する料理の種類と摂取量を入力すれば、脂肪酸の摂取量と比率が計算・表示され、閾値を越えた場合には警告等の表示も合わせてなされる（図6）。また、一日の望ましい必須脂肪酸摂取量に合わせた献立の提案も可能である。このソフトを利用することにより、使用者は脂肪酸の摂取量や比率の把握とコントロールを容易に行なうことができ、これにより、発病の予防および病態の進行を抑え、生活の質の向上を図ることができる。

1型糖尿病の予防・治療の進展には、望ましい栄養摂取方法の示唆など、日常の食生活全般に対するアプローチが必須であり、病院のみならず自宅でも簡単に利用できる栄養価計算ソフトの利用価値は高いと考えられる。ソフトウェアの構成例は図7に示す。

製品化については、県内外の出版社等とタイアップして行うとよいと考えられる。病状と適切な食事についての理解を深めるためにテキストを作成し、ソフト（CD-ROM）と共に販売する方法もある。

②経腸栄養剤

特許Ⅱは、上記の研究結果を利用し、経腸栄養剤に含まれるn-3系必須脂肪酸を強化することにより、必須脂肪酸比率を調整（ $n-6/n-3=3$ 程度）した食品を開発することにより、1型糖尿病の発病を予防および病態の進行を抑えようとするものである。

手術後や病気療養中において、栄養状態が悪い患者さんには経腸栄養と呼ばれる腸管を経由した栄養補給方法が使われる（図8）。積極的な経腸栄養は栄養状態の低下を抑え、さらに回復を促すことが明らかとなっている。

本研究成果を応用した経腸栄養剤は、従来の経腸栄養剤と比較して1型糖尿病の予防および病態の進行の抑制に有効であるため、手術後や病気療養中のために食事がとれない患者様に提供可能な商品となることから、技術的な問題をクリアできればニーズの高い製品となりうる。

製品化については、経腸栄養剤の製造技術をもつ県内外の企業と提携して行う方法が考えられる。

平成24年2月 8日
 島根県立大学アドミッション室
 (担当) 桑原、石飛
 (電話) 0855-24-2203

平成24年度島根県立大学一般選抜の志願者状況のお知らせ 及び前期日程試験の報道取材のご協力のお願について

島根県立大学で平成24年2月25日(土)に前期日程試験、3月12日(月)に後期試験を実施いたします。各日程の志願者の状況をお知らせいたします。

また、前期日程試験の取材につきましては、下記によりご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、後期日程試験の取材につきましては、別途お知らせいたします。

1. 募集人員と志願者数

区 分	募集人員	志願者数								
		県内			県外			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般選抜(前期日程)	80	34	13	47	434	165	599	468	178	646
一般選抜(後期日程)	20	8	14	22	165	95	260	173	109	282
計	100	42	27	69	599	260	859	641	287	928

(参考) 過去の志願者数は以下のとおりです。

H23年度実績

区 分	募集人員	志願者数								
		県内			県外			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般選抜(前期日程)	80	40	14	54	327	136	463	367	150	517
一般選抜(後期日程)	20	32	28	60	257	121	378	289	149	438
計	100	72	42	114	584	257	841	656	299	955

	H20	H21	H22
一般選抜(前期日程)	812名	596名	511名
一般選抜(後期日程)	252名	374名	310名
合計	1,064名	970名	821名

2. 出願期間

平成24年1月23日(月)から2月1日(水)まで(消印有効)

3. 一般選抜試験の概要

平成16年度入試から個別試験を導入しましたが、個別試験の受験については、受験の有無を選択し、受験しない場合は大学入試センター試験の成績のみ、受験する場合は大学入試センター試験の成績及び個別試験の成績を利用することとしています。

なお、個別試験の受験申込者が受験しなかった場合は、大学入試センター試験の成績のみを利用します。

個別試験は、数学、英語、世界史、国語、日本史から1教科を事前に選択して受験します。このうち国語と日本史については平成19年度入試からの導入です。

4. 試験日程等（前期日程）

- 個別学力試験を受験する場合

日 時：平成24年2月25日（土）

場 所：浜田会場（島根県立大学）

広島会場（河合塾広島校）

（世界史・日本史）

- ・受験者入室 9:20～10:00
- ・注意事項説明 10:00～10:20
- ・試験 10:20～11:50

（英語）

- ・受験者入室 12:00～12:40
- ・注意事項説明 12:40～13:00
- ・試験 13:00～14:30

（数学・国語）

- ・受験者入室 14:40～15:10
- ・注意事項説明 15:10～15:30
- ・試験 15:30～17:00

5. 取材会場及び取材対象

- ・浜田会場：日本史試験（島根県立大学講義研究棟）
- ・広島会場：日本史試験（河合塾広島校）

6. 取材上の注意事項

- ・取材を希望される報道機関は、2月25日（土）の9時50分に、浜田会場の場合は本部棟1F玄関ロビーに、広島会場の場合は河合塾広島校ロビーに、ご集合ください。
- ・試験室内の取材時間は、10時00分から10時10分までとします。
- ・試験前の受験生への個別インタビューはお控えください。
- ・試験室内での取材は、映像及び写真撮影とします。
- ・受験者本人が特定される撮影はお控えください。
- ・その他取材に当たっては、本部係員の指示にしたがってください。
- ・世界史・日本史の試験問題は、12時10分以降に集合場所にてお渡ししますので、ご希望の場合は、お集まりください。その他の教科の試験問題については、各教科の試験終了20分後を目途にお渡しすることができます。

7. 前期日程個別試験受験者数の発表

平成24年2月25日（土） 17時以降

8. 今後の予定

（前期）

合格発表日 平成24年3月5日（土）午前10時

入学手続期間 平成24年3月9日（水）～3月15日（火）

9. 当日の取材対応担当者

（浜田会場）

島根県立大学アドミッション室長 石飛 文太郎

（広島会場）

島根県立大学アドミッション室主任 的場 好信

平成24年2月8日
 島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス教務学生課 吾郷
 TEL: 0852-20-0215
 FAX: 0852-21-8150

平成24年度島根県立大学短期大学部一般選抜（健康栄養学科・保育学科・総合文化学科I日程）の志願状況について

- 1 個別学力試験日 平成24年2月18日（土）
- 2 個別学力試験科目 健康栄養学科 総合問題
 保育学科 小論文
 総合文化学科 面接

3 入学定員・募集人員・志願者数

学科	入学定員	募集人員	志願者数								
			県内			県外			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
健康栄養学科	40	30	3	33	36	1	43	44	4	76	80
保育学科	50	28	2	41	43	1	31	32	3	72	75
総合文化学科	140	35	18	49	67	7	30	37	25	79	104
計	230	93	23	123	146	9	104	113	32	227	259

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

4 試験日程

【健康栄養学科及び保育学科】			【総合文化学科】		
試験会場開扉	9:00		試験会場開扉	9:00	
受験者試験室入室	9:00～9:45		面接試験控室入室	9:00～9:45	
連絡注意	9:45～10:00		連絡注意	9:45～10:00	
試験	10:00～11:30		面接	10:00～13:00	
			面接試験控室入室	13:15～13:45	
			連絡注意	13:45～14:00	
			面接	14:00～18:00頃	

5 合格発表 平成24年3月2日（金）13:00

6 参考

昨年度（平成23年度）の志願状況

学科	入学定員	募集人員	志願者数								
			県内			県外			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
健康栄養学科	40	30	0	42	42	0	42	42	0	84	84
保育学科	50	27	6	59	65	3	54	57	9	113	122
総合文化学科	140	34	23	82	105	3	40	43	26	122	148
計	230	91	29	183	212	6	136	142	35	319	354

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

※一般選抜の募集人員は社会人特別選抜の合格者数を除いている。

当初、保育学科の募集人員は28名。総合文化学科の募集人員は35名。

【取材に当たってのお願い】

- ① 事務室教務学生課で資料と腕章をお渡しします。取材時は、腕章を着用してください。
- ② 撮影を許可する試験室は、当日お知らせします。記者の皆さんの試験室への立ち入り撮影は、9時45分から試験開始直前の9時55分までの10分間とします。
- ③ 試験室内での撮影は、係員の指示に従って撮影してください。
- ④ 当日の受験者数が確定するのは、17時頃となります。



平成24年2月8日
島根県立大学出雲キャンパス
教務学生課 小林・矢富
TEL(0853)20-0215

平成24年4月開設 看護学部 一般入試の出願状況について

平成24年4月に開設する島根県立大学看護学部看護学科の「一般入試」を下記により実施します。

記

1. 日程

- (1) 実施日 平成24年2月25日(土)・26日(日)のうちいずれか1日
(2) 場所 島根県立大学出雲キャンパス(出雲市西林木町151番地)
(3) 時間

	午前グループ	午後グループ
会場開扉、受付	7:50～	12:40～
面接控室入室	7:50～8:20	12:40～13:10
注意事項等連絡	8:20～8:35	13:10～13:25
面接試験	8:40～12:05頃	25日 13:30～16:30頃 26日 13:30～15:00頃

※面接時間は当日お知らせします。

- (4) 報道取材集合時間と場所 2月25日(土) 8:00 出雲キャンパス事務室
※撮影可能時間 午前8:10～8:15

2. 出願状況等

- (1) 出願受付 平成24年1月23日(月)～2月1日(水)
(2) 出願状況

試験区分	募集人員	志願者数									昨年出願者数 (短期大学部 看護学科)
		県内			県外			合計			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
一般入試	35	9	72	81	35	192	227	44	264	308	166

※一般入試は分離分割方式により前期日程のみで実施します。後期日程は実施しません。

- (3) 合格発表 平成24年3月3日(土) 午前10時
出雲キャンパス内の掲示板に掲示するとともに本学ホームページに掲出
※報道取材の際は事前に担当者までご連絡ください。



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

東日本大震災により被災された平成 24 年度入学志願者のみなさまへ

島根県立大学及び島根県立大学短期大学部では、東日本大震災により被災された方で、平成 24 年度に本学に入学を希望する志願者に対して、経済的な面から支援するため、当該入学志願者の主たる家計支持者が下記に該当する場合は、申請により入学検定料免除の特別措置を講じることとしましたのでお知らせいたします。

該当する方で、特別措置を希望される場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

また、同様に被災された平成 24 年度入学試験合格者(入学予定者)の方に対しては、入学料の免除等で支援を行う予定であります。

記

- 1.東日本大震災に係る災害救助法適用地域及び同地域に準ずると認められた地域(以下「災害救助法適用地域等」という。)において被災し死亡した。
- 2.災害救助法適用地域等にある住居が、全半壊もしくは一部損壊または全半焼または床上浸水した。
- 3.災害救助法適用地域等にある勤務先(会社や自営業等のほか、田畑、漁業船舶等を含む。次号において同じ。)が被災したことにより、収入が見込めなくなった。
- 4.福島第一原子力発電所で発生した事故により警戒区域もしくは計画的避難区域に居住していたが避難等を余儀なくされたため、または、勤務先が当該区域にあるため、就労困難となり収入が見込めなくなった。
- 5.その他、東日本大震災により被災し、かつ、家計が激変した。

※申請には、公的機関が発行する罹災証明書等が必要です。

<お問い合わせ先>

島根県立大学 アドミッション室 TEL: 0855-24-2203



“しまね”の魅力再発見 “はじまる事業助成

観光講演会——魅力ある地域づくりを目指して!



神々の国しまね
古事記 1300年

観光振興の第一歩は、地域にある観光素材の掘り起こしとその再認識であるといえます。ふだん、私たちが暮らしの中でなにげなく目にしているものに、あらためて光を当ててみましょう。新しい浜田の魅力が見えてくるかもしれません。

演題 地域の暮らしと観光の視点 講師 松村公明 氏

立教大学観光学部教授/交流文化学科長
京都市生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。筑波大学大学院博士課程地球科学研究科単位取得満期退学。秋田大学教育文化学部助教授を経て2006年より現職。

地理学を基盤として、国内はもとより、フランス、中国、ベトナムを対象に「生活文化と観光」「まち歩き観光」「観光地域の形成」に関わるフィールドワークを行う。



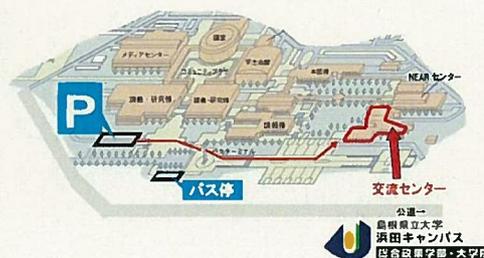
日時 2012年2月19日(日) 13時30分～15時30分
会場 島根県立大学交流センター コンベンションホール
(浜田市野原町 2433-2)

入場無料

同時開催

観光素材探索ワークショップ「浜田の魅力を探そう」 成果発表会

地域住民のみなさんにご参加いただき、自治区単位で実施している観光素材を探索するワークショップの成果を発表します。



主催 浜田市観光協会

後援 浜田市、島根県立大学、石見観光振興協議会

問い合わせ

浜田市観光協会

TEL. 0855-24-1085 FAX. 0855-24-1081



“「しまね」の魅力再発見 “はじまる事業助成

観光素材探索ワークショップ「浜田の魅力を探そう」



1. 開催趣旨

観光振興の第一歩は、地域にある観光素材の掘り起こしとその再認識であるといえます。このワークショップでは、地域住民のみなさんの知恵をもちよって、浜田市の自然、風土、歴史、文化、伝統、食などの観光素材を掘り起こすとともに再評価していきます。また、この作業を行うことにより、地域住民のみなさんに観光や地域の観光素材への理解を深めてもらおうとするものです。

ここで、「観光素材」とは、すでに観光の対象となっている観光資源や観光施設に加え、これから観光の対象となるかもしれない有形・無形の地域資源をいうこととします。

2. 日程

地区	月日	場所	時間	備考
浜田自治区	2011年12月17日(土)	いわみーる 会議室 No.1	13:30~16:30	済
金城自治区	2012年2月5日(日)	雲城公民館	13:30~16:00	済
旭自治区	2012年2月11日(土)	旭保健センター	13:30~16:00	
三隅自治区	2012年1月22日(日)	三隅公民館	13:30~16:00	済
弥栄自治区	2012年2月18日(土)	弥栄多目的研修施設	13:30~16:00	

3. 参加者

観光やまちづくりに関心のある方ならどなたでもご参加いただけます（当該自治区外の方も歓迎します）。

4. 内容

- ① スタッフ（島根県立大学教員）から、観光素材探索の視点などについてお話しします。
 - ② スタッフ（島根県立大学学生）が調査した観光素材リストについて報告します。
 - ③ 参加者のみなさんから、リストに付け加える観光素材を提案いただきます。
 - ④ 参加者のみなさんに、それぞれの観光素材の魅力を話し合ってもらいます。
 - ⑤ 参加者のみなさんに、地域をめぐる日帰りの旅、または、観光素材マップを作成してもらいます。
- ※ 成果は、2012年2月19日（日）開催予定の基調講演会（全体報告会）で発表します。

主催 浜田市観光協会

実施 島根県立大学総合政策学部林秀司研究室（TEL：0855-24-2234）

観光素材探索ワークショップ「浜田の魅力を探そう」(浜田地区)開催状況

日時： 2011年12月17日(土) 13:30~16:30

場所： いわみーる 会議室 No.1

参加者： 浜田市観光ボランティアガイドの会、浜田市観光振興課、浜田市観光協会、島根県立大学ほか、計18名

おもな内容

1. 浜田市観光協会あいさつ
2. オリエンテーション
3. 観光素材探索フィールドワーク成果発表

9月27日に実施したフィールドワークやその他の機会に調査した成果を、学生たちがスライドを使って発表しました。

4. 観光素材のリストアップ

参加者のみなさんに2つのグループに分かれてもらい、それぞれのグループで、観光素材をリストアップしてもらおうとともに、それらを整理してもらいました。

5. まとめの発表



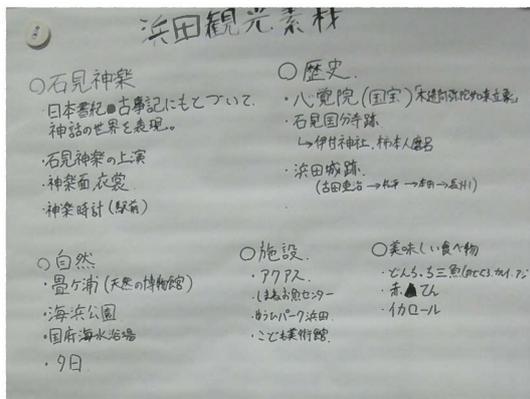
▲ フィールドワーク成果発表のようす



▲ ワークショップのようす



▲ まとめの発表のようす



▲ まとめの例

いのちを守る防災と 災害ボランティアフォーラム

大学生発!



2012

＜I部＞シンポジウム 12:45～15:00 場所：D-14 教室

- ① 活動報告：「大学生が見た震災と災害ボランティア～岩手からの報告～」
報告者：岩手県立大学生
- ② 活動報告：「私にとっての3.11」
島根県立大学生、県立広島大学生、岡山県立大学生、山口県立大学生（調整中）
- ③ ディスカッション：各県立大学生

＜II部＞講演 15:15～16:50 場所：D-14 教室

「自分が助かれば人を助けられる～日ごろの備え～」

報告①：近藤吉輝氏（呉市社会福祉協議会職員）

地域での子供から大人まで広く防災意識を高める取り組みについて、「もしもしかめよ」の替え歌と体操で楽しくお話を頂きます。

報告②：本廣陽一氏（災害ボランティア・消防士）

東北で災害ボランティアに取り組みられた経験を中心に、消防士としての経験も踏まえて「日ごろの備え」についてお話を頂きます。

子どもから大人までどなたでも参加できます！

日時：平成 24 年 2 月 18 日(土)

11:00～17:00

場所：山口県立大学 4号館（D館）1F

住所：〒753-8502 山口県山口市桜島 3丁目 2-1

◎参加方法◎ 参加の申し込みは裏面の申込用紙で
なるべくお早めをお願いいたします。

※ お問い合わせ先：山口県立大学社会福祉学部実習準備室内
Tel:083-928-4783 Fax:083-928-3547



主催 山口県立大学災害ボランティア実行委員会ぶちボラYP 勇気
いのちを守る防災と災害ボランティアフォーラム 2012 実行委員会

《展示・体験ブース》

●あなたは3日間生き延びることが出来ますか!? 会場：D-11 教室
 ～非常食を食べてみよう～（11:00～11:45）**参加費無料!**
 ※軽食程度の量を準備しています。昼食の準備は各自でお願いします。

●展示（11:00～17:00） 会場：D-11 教室、D-12 教室
 災害ボランティア活動のパネル、防災グッズ・文献等の展示を行います。

●ハンドトリートメント（11:00～12:50） 会場：D-12 教室 **無料!**
 東北でも癒しの提供として行った、アロマオイルを使ったハンドトリートメントを行います♪

●YP勇氣 **おすすめ**防災グッズコーナー 会場：D館1F廊下
 「こんなのあったらいいな!」防災グッズを展示します!

★アンケートを書いたくださった方の中から抽選10名様にはプレゼントが! ^^
 ぜひともご回答をお願いします!



《III部》つながり・つなぐボランティア輪交流会 ～ネットワーク会議～

18:30～20:30 会場：山口ユースホステル（大学生限定）

参加費用：1000円（飲食代として）

災害ボランティア活動を行っている大学生による交流会です! *
 学生同士の仲を深めつつ、大学同士のネットワークを築く機会にしましょう!

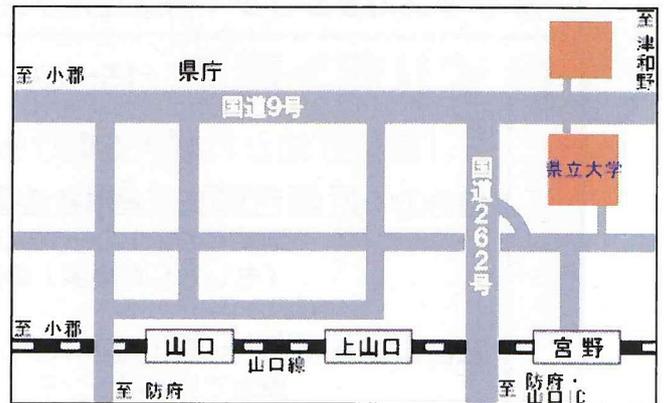
《アクセス》

●JRをご利用の場合

[関西方面から]
 新幹線新山口駅で山口線に乗り換え
 宮野駅下車徒歩5分
 [益田方面から]
 山口線宮野駅下車徒歩5分

●車をご利用の場合

山口インターチェンジから国道262号で山口方面
 ※当日のプログラムの詳細は変更する場合があります
 すのであらかじめご了承ください。



山口県立大学 災害ボランティア実行委員会 ぶちボラYP勇氣

いのちを守る防災と災害ボランティアフォーラム 2012 参加申込書

氏名	非常食 試食会	交流会	連絡先 (tel)	所属
1	出・欠	出・欠		
2	出・欠	出・欠		
3	出・欠	出・欠		
4	出・欠	出・欠		
5	出・欠	出・欠		

締め切り：2月10日（金）必着

申込書の送付は郵送またはFAXでお願いいたします。

FAX番号：083-928-3547

平成24年2月8日
 島根県立大学松江キャンパス
 教務学生課
 担当：吾郷，河瀬
 電話：0852-20-0216

島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)
 平成24年度前期科目等履修生・聴講生の募集について

平成24年度前期科目等履修生及び聴講生を以下のとおり募集します。

科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、履修科目の試験に合格すると単位を取得できる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生・聴講生の方は、受講したい科目を1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 平成24年4月1日(日)～平成24年9月30日(日)
2. 募集人員 各科目若干名
3. 応募資格 次のいずれかに該当する者
 - 【科目等履修生】
 - (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - 【聴講生】
 - (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
 - (2) 高等学校卒業程度の学力を有する者
4. 出願期間 平成24年2月13日(月)～平成24年2月17日(金) 必着
5. 費用(入学検定料) 科目等履修生…9,800円, 聴講生…なし
6. 応募方法 募集案内をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。
 (募集案内請求先)
 〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2
 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課
 TEL: 0852-20-0216
 ※本学ホームページからも取得可能です。
 トピックス「平成24年度前期科目等履修生・聴講生の募集について」からお入りください。
 URL: <http://matsuec.u-shimane.ac.jp/>

7. 問い合わせ先
 所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課
 電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150
 電子メール：gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

8. 過去3年分の履修生・聴講生の入学状況

	科目等履修生		聴講生	
	前期	後期	前期	後期
平成21年度	—	—	4名	4名
平成22年度	—	—	3名	3名
平成23年度	2名	2名	—	2名



平成 24 年 1 月 30 日
島根県立大学 出雲キャンパス
看護学科 平野 文子
管理課 金築 利博
電話 0853-20-0200

平成 23 年度島根県がん相談員等地区研修会（西部研修会）の開催について

1. 目的

島根県西部地域におけるがん相談の問題点を共有し、日々の相談業務に活かす。
島根県西部地域の相談員の連携を強化する。

2. 全体日程

平成 24 年 2 月 18 日（土） 10:00 ～ 16:00

3. 会場

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 2 階 総合研修センター
（浜田市浅井町 777 番地 12）

4. 主催

島根県

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員研修委員会
共催

島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員部会

5. 内容・対象

1) 内容

- ・ 報告「県西部地域におけるがん相談の現状」
（各医療機関からのがん相談の現状報告、事例報告）
- ・ グループワーク「がん相談における事例検討」

2) 対象：がん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師

6. 出席者・参加人数

参加人数：約 30 名

7. 参加方法

1) 参加方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにて「島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局」へ申し込む。

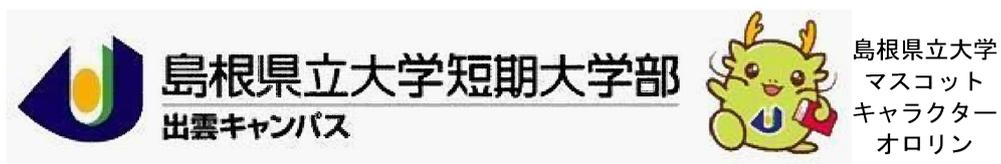
2) 参加費

無料

8. これまでの経緯や今回の特徴など

この研修会は、島根県立大学短期大学部出雲キャンパスが島根県から委託を受けた「平成23年度がん相談員等資質向上事業」の1つである、「がん相談員研修事業」の一環として行うもので、今年度は第3回目の研修会となります。

県西部地区の病院において、がん相談に携わるスタッフが、職種を超えて、この機会に顔を合わせることで、連携の強化を図り、それぞれの施設のがん相談の現状、抱えている問題等を互いに理解・共有し、よりよいがん患者・家族支援について検討します。



平成23年度 島根県がん相談員等地区研修会 西部研修会

目的 島根県西部地域におけるがん相談の問題点を共有し、日々の相談業務に活かす。
島根県西部地域の相談員の連携を強化する。

主催 島根県
島根県立短期大学部出雲キャンパス がん相談員研修委員会

共催 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員部会

日時 平成24年2月18日(土) 10:00~16:00

会場 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 2階 総合研修センター
浜田市浅井町777番地12

※ご来場の際は、公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。
浜田医療センターの駐車場をご利用の場合は、会場に必ず駐車券をお持ちください。

対象 がん相談に携わる医療ソーシャルワーカー・看護師など

参加費 無料

【プログラム】

9:30~ 9:50	受付
9:50~10:00	オリエンテーション
10:00~12:00	報告「県西部地域におけるがん相談の現状」 各医療機関からのがん相談の現状報告、事例報告
12:00~13:00	休憩
13:00~15:00	グループワーク「がん相談における事例検討」
15:00~15:30	発表
15:30~16:00	まとめ
16:00	終了

※申込締切：平成24年2月3日(金)

- 参加を希望される方は、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。
- 当日の昼食は各自でご用意ください。
(会場である総合研修センターでの飲食はできません。院内の食堂または所定の会議室をご利用ください。近隣には飲食店もあります。)

問い合わせ先：島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局 安食
(TEL/FAX：0853-22-6522)

平成
23年度

島根県がん相談員等 地区研修会

対象／がん相談に携わる医療ソーシャルワーカー・看護師など

あなたがつらいとき――

この扉を開けてください。

「がん相談員」は、がん患者さんやご家族の抱える療養上の不安や悩みに対して相談に応じています。中央研修会(平成23年10月開催)では、がんの病態と治療、コミュニケーションスキルを学びました。今回の地区研修会では、地域の実情に応じた課題を検討し、よりよい相談支援について考えます。

東部地区

とき 平成24年 **1月21日** (土) 10:00～16:00
ところ **島根県民会館** 307会議室
松江市殿町 158

プログラム

1. 報告 「がん拠点病院におけるがん相談の現状と課題」
2. グループワーク(がん情報センターDVDをもとに) 「がん患者の抱える問題とその特性」
3. 話題提供と意見交換 「がんとお金」

西部地区

とき 平成24年 **2月18日** (土) 10:00～16:00
ところ 独立行政法人 **国立病院機構**
浜田医療センター
総合研修センター
浜田市浅井町 777 番地 12

プログラム

1. 意見交換 「各医療機関からがん相談の現状報告」
2. グループワーク 「がん相談における事例検討」

主催／島根県、島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員研修委員会 共催／島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員部会

お問い合わせ先 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局(安食) Tel & Fax 0853・22・6522

参加費
無料

事前申し込みが必要です